

令和6年度 第2回 佐賀県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 会議要旨

- 日 時 令和7年2月3日（月） 15:00～16:00
- 場 所 佐賀市大和支所 3階 第3会議室
- 委員出席者 倉田会長、枝國委員、城委員、原田委員、山本委員、野口委員、江口委員、狩野委員
- 事務局 馬場事務局長、実本副事務局長兼総務課長、吉岡業務課長、寺崎総務課副課長兼総務係長、手塚財政係長、長野企画・保健係長、水町給付係長、堤資格賦課係長
- 意見及び質疑応答要旨

1 医療の現状について

- | | |
|-------|---|
| （委員） | 令和6年度の療養諸費中、一般診療の項目で当初予算額より給付見込額が増額となっている理由はなにか。 |
| （事務局） | 一般診療項目の当初予算額は、コロナの影響がない年度の実績を基に算出しているが、他広域連合との間で一般診療等を調整する保険者間調整において、稀な事案として多額な一般診療が発生したため。 |
| （委員） | 令和6年度療養給付費現物給付額の7月分が前年の同月分と比べると9.25%と伸びている背景はなにか。 |
| （事務局） | 各月の診療稼働日数が影響していると思われる。令和6年3月分から9月分の実績で算出すると、診療稼働日1日当たり約4億円かかっている。
また、佐賀県では新型コロナウイルス感染症の患者数が令和6年7月から8月にかけて増加したことも影響していると思われる。 |
| （委員） | 令和6年度の療養諸費中、医科の項目で当初予算額より給付見込額が減額となった理由はなにか。 |
| （事務局） | 昨年は入院が多かったため、それを見越して今年度の予算を算出していたが、今年度は想定していたほどの入院がなく、医療費は大きく伸びていない。 |
| （事務局） | 医療費全体における新型コロナウイルス感染症の医療費が、昨年と比べると大幅に下回っていることも影響している。 |
| （委員） | 被保険者の増加はあると思うが、コロナ禍前と比べると、医療費の伸率は変わらないか。 |
| （事務局） | 新型コロナウイルス感染症を加味しない場合、被保険者数の伸びによる医療費の増加はあるが、医療費の伸びは想定の範囲内で収まっている。 |

2 令和7年度予算及び主要事業について

- (委員) 重複服薬等対策事業とあるが、内容を根本的に変えて、対象者のかかりつけ医師に重複服薬であることを通知し、対象者が受診している各医療機関を繋ぐと良いと思う。
- (事務局) 医療機関に対象者を特定した通知は行ってないが、対象者へ訪問する旨などの通知は行っている。
- (事務局) 本来、重複服薬等対策事業、重複・頻回受診対策事業は、被保険者に対して重複服薬、重複・頻回受診についてお知らせする事業であるが、どこに対して通知を行うと一番効果があるのか、他保険者も似た事業を行っていると思うので、より効果的でより費用が抑えられる事業ができるよう研鑽していく。
- (委員) 患者が、重複服薬であることを医師に言わない場合もある。医師に通知すれば、医師から重複服薬について患者に伝えることもできるので、患者にとっても、より効果的だと思う。
- (委員) 令和8年度から厚生労働省が歯科健診票の全国統一版を出すということで、市町が行う歯科健診は全国統一版に変える準備をしているが、後期高齢者医療広域連合が行う歯あわせ健診については、準備は行なっているか。
- (事務局) 歯科医師会へ相談をしながら全国統一版に変える準備を行い、令和8年度から全国統一版で対応する。
- (委員) 1人暮らしの高齢者へのマイナ保険証についての周知などは、どのように行っているか。
- (事務局) わかりやすいチラシなどで周知を今後も行っていく。

3 低所得者に対する保険料の負担軽減について

意見なし

4 その他

- (委員) マイナ保険証の利用の動向は
- (委員) 病院の窓口などで、患者にマイナ保険証の利用についての声掛けは、行っているようだが、なかなかマイナ保険証は普及していない。普及させるべきものだと思う。

(16:00 会議終了)